

(第4回 総会報告)

昭和54年度 決算書

1. 収入の部

科目	予算額	決算額	増減
会費	155,000	162,000	7,000
補助金	50,000	50,000	0
寄付金	10,000	9,000	△1,000
繰越金	124,467	124,467	0
雑収入	2,000	1,152	△848
合計	341,467	346,619	5,152

2. 支出の部

科目	予算額	決算額	増減
会議費	50,000	56,450	△6,450
事務費	30,000	540	△29,460
通信費	40,000	19,000	△21,000
消耗品費	20,000	19,100	900
事業費	150,000	91,255	△58,745
負担金	10,000	3,000	7,000
予備費	41,467	0	41,467
合計	341,467	189,345	152,122

昭和55年度 予算書

1. 収入の部

科目	前年度予算額	本年度予算額	増減
会費	155,000	160,000	5,000
補助金	50,000	50,000	0
寄付金	10,000	10,000	0
繰越金	124,467	157,274	△32,807
雑収入	2,000	2,000	0
合計	341,467	379,274	37,807

2. 支出の部

科目	前年度予算額	本年度予算額	増減
会議費	50,000	60,000	10,000
事務費	30,000	30,000	0
通信費	40,000	40,000	0
消耗品費	20,000	30,000	10,000
事業費	150,000	180,000	30,000
負担金	10,000	10,000	0
予備費	41,467	29,274	△12,193
合計	341,467	379,274	37,807

昭和54年度 事業報告書

事業名	内 容
町内史跡めぐり	2/3 上若橋方面 2/4 本佐倉方面 (年2回)
史跡見学会	3/16 市原方面 3/22 印西方面 3/21 神埼～世川～常世田 鎌田 2/25 益子、笠間(県外) (年4回)
古文書学習会	3/0～3/8 月1回 (年11回)
石 俣 調 査	3/8 3/9 酒々井地蔵 3/9 上本佐倉(年2回)
野草の会	1/7 七草かゆと食べる会 4/24 山菜と食べる会 ほか 史跡めぐりハイキングと合流して (年8回)
郷土史講座	2/1 千葉県加南利貝塚、千葉寺等見学 1/17 麓尾余遺跡発掘調査部長講演
会 報	2/28 第10号～3/30 第13号 (年4回)
運営委員会	1, 3, 6, 9, 12の各月に4半期毎の行事計画
総 会	1/27 第3回定時総会と実施
家紋調査	「酒々井町の家紋」発行配布
日本史年代枝 暦表の作成	徳川時代の文禄元年～昭和55年までの 西暦、年号、干支、逆算表など作成 会員に2部ずつ配布

昭和55年度 事業計画書

事業名	内 容
町内史跡めぐり ハイキング	年2回 教育委員会と共催
史跡見学会	年6回 内県内1回/回、県外1回
古文書学習会	年8回
石 俣 調 査	年8回 53年～55年継続事業
野草の会	年8回
郷土史講座	年2回 教育委員会と共催
会 報	年4回
史談会	年3回 新規事業
運営委員会	年間定例会議と5回
総 会	1月26日 第4回定時総会

※ 以上総会報告をいたします。
207名の会員の皆さんが少くとも1回は
お顔と出して下さいますようにと期待して
やみません。

野草の会
石仏調査

部会登録について

郷土研発足以来続いております「石仏」野草の
両部会は、楽しい会として五十五年度も継続いたし
てゆきますが、会報発行が三か月に一度のため、日
時を忘れてしまつての不参加の方が見受けられます。
この点を考えて、今年度は「登録制」を試みたいと
思います。各部会に参加希望者は、お名前と登録
してもらいますと、必要に応じて念の日時、場所などを
葉書にて御通知をいたしたと考えておりますので、
御利用いただきたく思います。お申込みは電話
で教育委員会又は「編さん室」の相京までお願いしま
す。(電話(九六)一一七一)

(追加行事)3月の予定は

次のとおりです。

石仏調査 雨天中止
3月8日(土) AM 9:00
3月23日(日) "
集合場所 青年研修所
調査区域 上本本佐倉
持物 筆記用具
傘 倉

野草の会 雨天中止
3月22日(土) PM 1:00
集合場所 国鉄酒々井駅東口
場所 尾上方面

あなた読めますか?

輻 カマリン
輻 エニゴ
輻 スミダマ
輻 スミダマ
輻 スミダマ

輻 イハン
輻 トヤ
輻 ホリン
輻 パトカー

輻 チキチキ
輻 パン
輻 イカサマ



輻 カマリン
輻 ドミオン
輻 モケルキ
輻 クマ
輻 クマ
輻 クマ

(八街町消防団湯呑より)

新入会員御紹介 (26名)

(三〇七)	(三〇六)	(三〇四)	(三〇三)	(三〇二)	(一九九)	(一九八)	(一九七)	(一九六)	(一九五)	(一九四)	(一九三)	(一九二)	(一八九)	(一八八)	(一八七)	(一八六)	(一八五)	(一八四)	(一八三)	(一八二)	(一八〇)
東郷	高橋	清宮	大谷	藤野	若林	若林	高橋	高橋	富下	小別	菅原	白石	山井	山井	山井	伊野	今井	青木	川島	綿貫	齊藤
かい	晟	元	儀	千子	夏子	夏子	信正	信正	なみ	いと	志場	栄子	君一	さく	さみ	ま	れん	な	重利	敏雄	之助

(((郷土研究会役員名簿)))

会長	相京晴次
副会長	木内忠治郎
監事	沖田善三郎
運籌委	福田豊吉
	加川岩良
	押尾克巳
	石渡朝太郎
	田村直子
	御厨萬一
	川島計介

石渡一郎	菅原正	子安とよ	齊藤一郎	京増忠太郎	藤川正美	小別当光	真子千鶴子	増川房子	青木朝次
------	-----	------	------	-------	------	------	-------	------	------

金杉智恵	木内武	富沢勝	会田秀雄	野谷敏子	福田セツ	相京正明	吉岡一雄	福田富蔵	寒那義一
------	-----	-----	------	------	------	------	------	------	------

短歌

暮坂峠

大正十一年十月日笠と倉峠越えに牧水と想う
創作同人 押尾克巳

越後かも知れぬ遠くの山並のたゞ白くそれなりに雪
縁となり牧水ニミに在りしたり暮坂峠の落葉松の中
新しく親光道路ひかれてさきまわりゆく暮坂峠
あけぼの草の花はいづくと探し居りあぐなれて来し暮坂峠
鞍つりし馬に跨り病み人の草津に越えて行きし山路
峰へ立ち行く手を阻む山おとも思ひしに根を廻り道
あり

後記

冬と夢を見ないと思ひながら眠った日にゆめを見た。
本庄倉城址が広々とした立派な公園になつていた。から堀の中を歩くと柴のすめれが咲き、ひとりの静けさを感じて、松の緑が目につく。杉の木々も間より揺れる光に誘われて歩く。その一面の梅の里。酒々井の春はもうすぐです。(M)

日記(4)ところどころ
故押尾翠村記

前号(第14号)より

(明治16年)
2月4日 午前四時より雪降り2尺3寸(69cm.)
積り申候。同三月七日雪降り1尺3寸積り申候。

3月 西大師掛物。本佐倉四宮秀忠より譲受。御礼として50匁英外酒井謙全へ開眼供養料。表具代合せて1円80銭相掛り申候。

4月19日 東京芝三縁山増上寺様。本庄倉清光寺に御本なされ。五十相伝らかい御授けなされ。同22日上終園連沼に御越相成申候。

9月1日 公津村宗吾様御開帳30日間。この節酒々井町より米100俵の飯相場として金百両相納申候。

旧12月26日 電信針金と始めて張り申候。

(明治17年)

5月 酒々井町に茶業組合出来申候。

6月1日 佐倉警察署開きに御座候。表40間、裏行10間。工費500円。小川善七定と買収して、1月22日より25日までに建ち申候。

8月28日 大雨風吹き申候。

11月6日 農産物比較会と量区宗島新五郎養蚕室にて開き申候。

(明治18年)

7月4日 佐倉新町に大火これあり。50戸焼失はり候。

岩橋区岩崎に、岩橋小学校新築成り4月より授業を開始致し申候。工費270円57銭相掛り申候。尤これでは中川は西蔵院、岩橋は妙楽寺にて飯授業致し極り申候。

4月7日 成田山不動尊、芝山に王尊。公津村宗吾様右三か所。東京深川吉祥院にて開帳に相成りに付御越なされ候。

10月20日 佐倉郡役所建始め。同21日まで相掛り申候。間口15間、裏行4間。普請請負は水戸台の伊藤儀右衛門にて。工費は3900円相掛り申候。

(以下次号へ)